

平成30年度 英語表現 I シラバス

校長		教頭	
----	--	----	--

教科	外国語	科目	英語表現 I	学科	会計科	単位数	2
使用教科書		SELECT English Expression I (三省堂)					

学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の工夫をしながら伝える能力を伸ばす。
---------	--

1 成績評価

- ① 定期テスト (70%) : 筆記問題
学期に2回定期テストを実施する。授業内容を主にし、自主学習課題も範囲に加え、応用も含めて出題する。
- ② ペアワーク、グループワークの発表 (10%)
- ③ 提出物 (10%) 授業の進度に応じ、自宅学習用課題を提出させる。
- ④ 授業 (10%) 授業への積極的な態度を評価する。

◎授業計画

学期	月	時間	単元	学習のねらい	言語材料	評価方法
1 学期	4	8	Let's Start	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの文字を正しく書いたり、正しく発音できているか確認する。 ・品詞について意識する。 ・英文理解における語順の大切さを認識する。 	アルファベット 品詞 語順	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
			Lesson 1 自己紹介 - あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介の仕方、挨拶の違いなど、様々な文化や習慣の違いを認識する。 ・この課の言語材料を使用し、「自分の趣味や興味があること」について書いたり話したりする表現に親しむ。 	現在形： be 動詞 一般動詞	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
			Lesson 2 宇宙で食事 - 世界の食文化	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統料理から最先端の宇宙食など様々な食文化があることを認識する。 ・この課の言語材料を使用し、「先週末にしたこと」について書いたり話したりする表現に親しむ。 	過去形： be 動詞 一般動詞	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
	5	9	Lesson 3 世界へ羽ばたけ！ - スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの種類やスポーツ選手について認識する。 ・この課の言語材料を使用し、「昨日の夜8時にしていたこと」について書いたり話したりする表現に親しむ。 	進行形： 現在進行形 過去進行形	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
			Lesson 4 エーゲ海の島へ - 旅行	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行先として有名な各国の名所等について認識する。 ・この課の言語材料を使用し、「今年の夏にする予定のこと」について書いたり話したりする表現に親しむ。 	未来表現： will be going to	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
			Gトレ プラス Lesson1~4	<ul style="list-style-type: none"> ・1~4課までの文法・語法の定着を図る。 	現在形 過去形 進行形 未来表現	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査

		つなぎ言葉 第1回	・接続詞の活用が表現力向上につながることを認識する。		・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
		Speaking Station 1 史上最大の発明は？ The Greatest Invention	・世界の発明品の名称を認識させ、暮らしとの関わりを考える。 ・発表に必要な表現およびスピーチの流れを理解する。 ・テーマに沿って、自分の考えを発表することに慣れる。		・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
		Daily Conversation 1 「買い物」をする時の表現 Can I try it on?	・特有の場面で使用される日常会話表現に慣れる。 ・コミュニケーションを円滑にするための表現に気付けるようになる。		・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
6	7	Lesson 5 アイドルー芸能	・アイドル、芸能について認識する。 ・この課の言語材料を使用し、「これまでの経験、およびその回数」について書いたり話したりする表現に親しむ。	現在完了： 継続 経験	・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
		Lesson 6 祭りだ祭りだ！ ー日本文化	・日本文化を紹介することの面白さや重要性に気付けるようになる。 ・この課の言語材料を使用し、「過去のある地点から現在まで継続していること、およびその期間」について書いたり話したりする表現に親しむ。	現在完了： 完了 現在完了進行形	・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
		Lesson 7 未来のエネルギー ー環境	・環境やエネルギー問題について認識する。 ・この課の言語材料を使用し、「今週末の予定」について書いたり話したりする表現に親しむ。	助動詞： can may	・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
7	7	Lesson 8 世界平和のために ー国際社会	・国際社会がかかえる問題について認識する。 ・この課の言語材料を使用し、「映画の誘いを断わらなければならない理由」について書いたり話したりする表現に親しむ。	助動詞： must have to should	・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
		Gトレ プラス Lesson5～8	・5～8課までの文法・語法の定着を図る。	現在完了 助動詞	・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
		つなぎ言葉 第2回	・接続詞の活用が表現力向上につながることを認識する。	that / but	・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
		Speaking Station 2 目指せプロフェッショナル！ Job Search	・職業について考える。 ・発表に必要な表現およびスピーチの流れを理解する。 ・テーマに沿って、自分の考えを発表することに慣れる。		・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
		Daily Conversation 2 「レストラン」での表現 I'll have it.	・特有の場面で使用される日常会話表現に慣れる。 ・コミュニケーションを円滑にするための表現に気付けるようになる。		・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査

2 学 期	9	8	Lesson 9 沖縄美ら海水族館 －生き物	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な生き物について認識する。 ・この課の言語材料を使用し、「自分の夢やなりたい職業」について書いたり話したりする表現に親しむ。 	不定詞： 副詞的用法 名詞的用法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
			Lesson 10 未来を切り拓く －生き方	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な生き方を知ることによって自分の生き方や社会との関わりを考える。 ・この課の言語材料を使用し、「現在していること、および何の為にそれをする必要があるのか」について書いたり話したりする表現に親しむ。 	不定詞： 形容詞的用法 It～ (for-) to…	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
			Lesson 11 はやぶさの帰還 －自然科学	<ul style="list-style-type: none"> ・自然科学の進歩と可能性について認識する。 ・この課の言語材料を使用し、「友達といつもしていること」について書いたり話したりする表現に親しむ。 	動名詞	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
	10	7	Lesson 12 不思議な絵 －芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な芸術について親しむ。 ・この課の言語材料を使用し、「芸術作品およびその作者」について書いたり話したりする表現に親しむ。 	受動態	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
			Gトレ プラス Lesson9～12	<ul style="list-style-type: none"> ・9～12課までの文法・語法の定着を図る。 	不定詞 動名詞 受動態	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
			つなぎ言葉 第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞の活用が表現力向上につながることを認識する。 	or / as	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
			Speaking Station 3 どこが違う？ Finding the Differences	<ul style="list-style-type: none"> ・違いや位置関係を説明するなど、物事を描写したり、表現することに慣れる。 ・発表に必要な表現およびスピーチの流れを理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
			Daily Conversation 3 「道案内」の表現 Where is the bus stop?	<ul style="list-style-type: none"> ・特有の場面で使用される日常会話表現に慣れる。 ・コミュニケーションを円滑にするための表現に気付くようになる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
	11	8	Lesson 13 ヒエログリフ －外国語・ことば	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語・ことばの種類を知り、言語を学習する重要性や面白さを認識する。 ・この課の言語材料を使用し、「過去に見た面白かったこと」について書いたり話したりする表現に親しむ。 	分詞： 現在分詞 過去分詞	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
			Lesson 14 私たちの街にガオー －ご当地	<ul style="list-style-type: none"> ・ご当地の意味を認識し、地域への関心を高める。 ・この課の言語材料を使用し、「友達の特徴（得意なことなど）」について書いたり話したりする表現に親しむ。 	関係代名詞： that who which	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
			Lesson 15 書道甲子園 －活躍する高校生	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生と社会とのつながりについて考える。 ・この課の言語材料を使用し、「忘れられない出来事」について書いたり話したりする表現に親しむ。 	関係代名詞： what 関係副詞： where when	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
			Lesson 16 どれが一番？ －地理	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の地理について認識する。 ・この課の言語材料を使用し、(何かと何かを比べて)自分の好きな方を選んで書いたり話したりする表現に親しむ。 	比較： 比較級 最上級	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査

	12	6	Gトレ プラス Lesson13～16	・13～16課までの文法・語法の定着を図る。	分詞 関係代名詞 関係副詞 比較	・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
			つなぎ言葉 第4回	・接続詞の活用が表現力向上につながることを認識する。	if / than	・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
			Speaking Station 4 日本文化をPR! Show & Tell	・海外で紹介したい日本文化について考える。 ・発表に必要な表現およびスピーチの流れを理解する。 ・テーマに沿って、自分の考えを発表することに慣れる。		・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
3 学期	1	3	Lesson 17 限りある水 －国際協力	・国際協力に関わる活動を認識し、意識を高める。 ・この課の言語材料を使用し、「昨日見た（聞いた）こと」について書いたり話したりする表現に親しむ。	知覚動詞 使役動詞	・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
	2	4	Lesson 18 ピサの斜塔 －世界遺産	・世界遺産に親しむ。 ・この課の言語材料を使用し、「タイムマシンがあれば（過去・未来で）してみたいこと」について書いたり話したりする表現に親しむ。	仮定法過去 I wish	・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
			Gトレ プラス Lesson17～18	・17～18課までの文法・語法の定着を図る。	知覚動詞 使役動詞 仮定法	・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査
			つなぎ言葉 第5回	・接続詞の活用が表現力向上につながることを認識する。	when because so	・授業態度 ・発問評価 ・評価問題 ・定期考査